



## 研究部会報告

### ●環境システム●

#### ●12月例会

日時：12月15日(水) 18:00~20:00 場所：日科技連  
出席者：4名

議題：小田中敏男 環境システムの最適拡張について  
時間とともに増加する需要を満たすように設計された環境システムの余剰容量が設計者にとって大きな関心事となっている。規模の経済学からは容量を大きく増加させることが有利な一方、容量を少しずつ増加させることは資本投資に関する利息を節約できることになる。

設計者はこの問題に対して経験的に対処しているが、もっと合理的な方法が使用できる。

#### ●1月例会

日時：1月19日(水) 18:00~20:00 場所：日科技連  
出席者：5名

議題：有水彊 水資源問題への動的計画法の応用

ここでの問題は上水道設計、灌漑システム管理、水質保全、貯水池運用等を含んでいる。数値計算には動的計画法の次元性の問題が存在する。その方法としては離散動的計画法、微分動的計画法、状態増大動的計画法等が示された。

### ●OR/MSとシステム・マネジメント●

#### ●第5回

日時：9月4日(土) 場所：東京工業大学  
出席者：18名

議題：①文献輪読 “Design and Implementation of Computer-Based Information Systems” の論文紹介および討議 報告者：山田善靖(産能大)

②“組織有効性(organizational effectiveness)の概念について”

組織の有効性はどのように把握するかについての報告および検討が行なわれた。報告者：加藤敏雄(日本IBM)

今回は従来のように文献輪読を行なうとともに、システム・マネジメントとは何を意味するかを整理するための1つの手がかりとして“組織の有効性”について検討した。

#### ●第6回

日時：10月2日(土) 場所：東京工業大学

出席者：19名

議題：事例報告「コンピュータと金融機関」 報告者：淡建一郎(第一勧銀)

銀行のオンライン化の歴史および将来の情報システムのあり方、OAと業務についての報告をもとに部会メンバーとの活発な討議が行なわれた。

#### ●第7回

日時：11月6日(土) 場所：東京工業大学

出席者：18名

議題：「研究部会活動の反省および今後の進め方」についての検討会 司会：山田(産能大)

本研究部会は以下の3つの研究活動を行なうことを再確認した。

文献講読：コンピュータ・ベースの情報システムの活用に関する文献紹介を行なう。

事例研究：経営におけるOR/MSの利用のされ方、情報システムによる経営への影響等についての事例報告と討議。

関連研究：システム・マネジメントと心理学、組織科学、システム科学等との関連について研究発表を行なう。

#### ●第8回

日時：12月4日(土) 場所：東京工業大学

出席者：15名

議題：文献輪読“The Modelling Process”—実システムのモデル化過程について検討している—報告者：平野(東工大)

“Implementation of Planning Models”—プランニングモデルの実施のためのハンドブックの紹介—報告者 宮野(慶応大)

### 次号予告

#### 特集 建設のOR

建設業におけるORの現状と課題 庄子 幹雄

建築施工の作業計画における最適化

松本信二・三根直人

土木計画における最適化 吉川 和広

集合住宅計画における数理手法の適用

宇治川正人・安藤武彦・生部圭助

海外建設プロジェクトとOR 東山 尚